

これまでの審議会でのご意見（基本目標別）

1 基本目標 「将来にわたって『ひと』が育つまち」

- ✓ 方向性等に「何歳になっても」「誰でも」「何回でも学びなおせる」等、生涯学習に関する記載があると良い
- ✓ 「子どもの権利条例」を勘案して方向性等を整理すべき
- ✓ 妊娠・出産・子育てについて、「就労」までを見据えるべき
- ✓ 「一生涯にわたって」等の文言があると良い
- ✓ 「みんなで育てる」等の文言があると良い
- ✓ スポーツの要素がない
- ✓ 「人が育つ 育った人がまちづくりに関わる 持続可能なまちになる」の流れでは
- ✓ 育ちたくても育つことができない方々に、社会がセーフティネットとなることができるまちを目指すことが重要

2 基本目標 「多様な価値観・自分らしさを認め合い一人ひとりが輝くまち」

- ✓ 「誰もが大切にされ、自分らしく輝くまち」等、健康の強みをしっかり出していくことが重要
- ✓ 政策に健康が入っているが、サブタイトル等に健康の要素がない
- ✓ 方向性の「複雑で多様な人々の共存が求められている」が分かりにくい
- ✓ 「高齢者人口の増加」や「外国人人口の増加」をデメリットとして捉えない
- ✓ 高齢化の進行は、高齢者にとって安心して暮らすことができることも捉えることができる
- ✓ 多世代の交流やコミュニティを持続させたいと思うことができる主体的な学びの機会が重要
- ✓ 「町会の活性化」の内容がサブタイトルや方向性にない
- ✓ 町会は地域コミュニティの根幹であるため、それを表す記載があると良い

3 基本目標 「人情・産業・文化が息づくにぎわいのまち」

- ✓ 都電は観光資源やバラなど取組の骨格となるため、都電に関する記載があると良い
- ✓ 「水辺空間」は、防災に関連すること以外に、にぎわいや観光の観点からも重要
- ✓ 産業は区内の経営者が重要な役割を担っている
- ✓ 情報を知らず、孤立化している方もおり、他者となりにくい状態になっている
- ✓ 銭湯も重要であるが、繊維街も荒川区の魅力である
- ✓ 銭湯含め「保全」と「継承」が重要となる

4 基本目標 「安全安心で快適に暮らせるまち」

- ✓ 指標化できない心理的な部分の「安心」まで考慮することが重要
- ✓ 犯罪を減らすことのほか、「犯罪不安」を減らすことが重要
- ✓ 心理的な不安の解消のために、木造密集地域の解消と地域危険度の高さへの対応が重要
- ✓ 公園の整備のあり方の記載がない
- ✓ 下水道の老朽化のチェックや無電柱化の取組が重要
- ✓ 災害時におけるボランティアや町会の役割の明確化が重要
- ✓ 災害が起きた際の「迅速に対応できる」や「復旧復興ができる」等の記載がない